

京林大だより

No.62



絵：卒業生 熊走君

北海道研修（ドイツ代替研修）

令和4年6月13日（月）から17日（金）の4泊5日で北海道研修に行ってきました。

例年はドイツ研修を行っていましたが、世界中での新型コロナウイルス感染症拡大のため、2019年を最後に、この3年間は国内で代替研修を行っています。

今年は初めての北海道研修となり、旭川市と下川町を中心に視察し、本州とは異なる緩やかな地形や見慣れない樹種も多く、涼しい気候の中、自然を満喫した研修となりました。

行き先	内容
① 下川町	北海道下川町は、環境未来都市に選定され、木質バイオマスエネルギー利用など全国の先進事例として有名。
② NPO法人森の生活	幼児から高校生までを対象に、15年一貫の森林環境教育に取り組んでいる。次世代の森林・林業の担い手を育成。
③ 北の森づくり専門学院	3年前に北海道で開設された林業大学校。1学年40名（2学年制）、道産材100%の新築校舎や7台のシミュレータを所有。
④ 北海道立総合研究機構 林産試験場	設立72年目の日本を牽引する木材の研究・実験を行う林産試験場。現在、高強度集成材やCLTなどを調査。
⑤ 当麻町森林組合	カラマツ、トドマツの主伐が主な作業、森林の傾斜が緩いため、ほぼ9割はフェラーバンチャで伐採。
⑥ 株式会社カンディハウス	旭川家具は5大家具生産地の1つ。道産材の広葉樹を50%以上使い、全国に販売。



下川町有林



北の森づくり専門学院



カンディハウス（旭川家具）



十勝岳原生林

オープンキャンパス2022& 学校説明会を開催します

『オープンキャンパス2022』

毎年夏に開催しているオープンキャンパスを今年度も実施します。多くの参加者をお待ちしております。

日時：令和4年7月30日(土)

午前の部 10:00～(受付9:30～)

午後の部 14:00～(受付13:30～)

内容：林業大学校の紹介、高性能林業機械実演、個別相談コーナーなど

『学校説明会』

オープンキャンパスに参加できなかった方のために、学校説明会を次のとおり開催します。

①令和4年8月 6日(土)

②令和4年8月20日(土)

①、②とも10:45～ 2時間程度

※事前に申し込みが必要となります。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、日時・内容を変更する場合があります。詳しくは林業大学校のHPでお知らせします。

今月の授業参観

『育苗技術』挿し木実習

7月7日（七夕の日）、京都府緑化センターで樹木の繁殖方法として、親と同じ遺伝子を持つ苗木を増やす「挿し木」技術を学びました。

1年生の学生各自が、ツバキやブルーベリーなど4品種、各10本毎、計40本の挿し木を行いました。その成果は、来年か再来年の林大祭の時に来校して頂いた皆様方の希望者にプレゼントする予定としています。



校長室より

京都府内産木材の利用等を促進する
条例が制定されました！

校長 柴田 繁

京都府では、京都府内産木材の利用等の促進を計画的に図り、林業・木材産業の発展や地域の活性化等に繋げていくため、「京都府内産木材の利用等の促進に関する条例」が、令和4年3月に府議会で可決され、4月1日に施行しました。

条例制定に当たり、府民の皆様からご意見をお聞きしましたところ、「京都府内産木材の利用や府内の森林整備が進むことを期待する」や「人と森林が関わりを持つことで森林の本来の機能を取り戻し、地域の活性化にもつながる」など、条例制定に対する期待の声が多く寄せられました。

京都府では、この条例に基づき、府の公共建築物などの木造化、木質化の推進や、府内産木材の安定供給や生産性向上等のための人材の確

保・育成などに、一層、取り組んでいくこととしていきます。

人材の確保・育成と言えば京林大の役割。

京林大では、平成24年の開校以来、151名の卒業生を送り出し、うち128名が林業関係の現場に就職しました。

開校から11年目を迎えた京林大では、今後、スマート林業(ICT技術等)に関する授業の実施や、高性能林業機械の技術研修の更なる充実等により魅力ある学校づくりに取り組み、京都の森林・林業を担う人材の育成に、一層、取り組んで参ります。

地域の皆様、森林・林業、木材業の関係者の皆様、今後とも御支援、御協力をよろしくお願いいたします。